

2019（平成31）年度事業計画案

協会は今年度も、教育交流派遣事業・支援事業・受入事業の展開へと結ぶことのできる山東省泰安市における「教育交流プロジェクト」の推進等を中心に、草の根教育交流をより深く、多様に発展させることができました。特に今年度は、第17次教育訪中団の派遣とそれに合わせて泰安市東平県で行った「第3回音楽教育交流会」で、大きな成果をあげました。また、教育交流研究等助成事業として第7回となる中国人留学生と日本の教職員家庭との友好を深める「教育交流ホームステイ」事業は、参加した学生の語学等の研修ということばかりでなく、受入れたホストファミリーを基盤に、地域での日中友好、相互理解の輪をも広げています。さらには、第4回教育交流シンポジウムの開催は、日本語作文コンクール後援との関わりを大切にしながら、日中の青年による意見交流を通して教育について考えるという新たな取り組みとなり、これまた大きな成果を上げてきています。

協会の持続可能な活動を発展させるため、2019（平成31）年度は下記の教育交流事業を推進します。

1. 教育交流・派遣事業

- ① 教育交流プロジェクトと実施に関わって中国側の重要なパートナーである中国宋慶齡基金会の本部と青少年科技文化交流センターでの役員を対象とする研修中団を実施します。

2. 教育交流・受入事業

- ① 日本での第4回音楽教育交流会の実施も内容とする形で、第5次宋慶齡基金会教育交流代表団を受入めます。
- ② 中国教育国際交流協会、中国宋慶齡基金会、教育工会及びその他の教育諸団体が派遣する団体との教育交流、及び学校参観などの受入れ手配等を行います。

3. 教育交流・支援事業

- ① 5年次となる東平県への教育交流支援をおこないます。

4. 教育交流・研究等助成事業

- ① 第8回教育交流ホームステイを実施します。
- ② 教育現場や個人・団体の国際教育交流活動を活発化させるため、第5回日中教育文化交流シンポジウムを開催します。
- ③ 日本語作文コンクール（日本僑報社・日中交流研究所主催）の後援を継続します。

5. 機関運営などに関して

- ① 理事会、評議員会を年2回、監査委員会を年1回、各委員会、事務局会を随時行います。
- ② 年会報26号を発行します。また、『共生力』を随時発行します。ホームページの充実を図ります。
- ③ 事業推進に関する理解を図りながら会員を拡大し、よって財政基盤の確立を図るために、引き続き組織的な取り組みを進めます。